

## よこはま夢ファンド団体登録及び助成金交付審査結果について

### 1 平成27年度第2回よこはま夢ファンド登録団体申請について【審査】

よこはま夢ファンド団体登録要綱の申請要件に照らし、4団体について、市民活動運営支援事業部会が審査を行いました。※表1のとおり

### 2 平成27年度第2回よこはま夢ファンド登録団体助成金申請について【審査】

(1) 助成内容

登録団体が行う市民公益活動に係る事業の経費について助成を行います。今回は、平成27年8月24日までに受領確認ができた寄附金を活用します。

(2) 審査

登録団体からの助成金交付申請内容について審査基準に基づき、市民活動運営支援事業部会が審査を行いました。

(3) 申請状況 19事業 6,062,000円

(4) 審査結果 19事業 6,042,000円 ※表2のとおり

### 3 平成27年度よこはま夢ファンド組織基盤強化助成金申請について【審査】

(1) 助成内容

登録団体が行う組織基盤強化に係る取組の経費について助成を行います。なお、費用の助成に加え、団体内で振り返りを行う際の「ファシリテーターの派遣」、「助成団体同士の情報交換」を実施します。

(2) 審査

登録団体からの助成金交付申請内容について審査基準に基づき、市民活動運営支援事業部会が審査を行いました。

(3) 申請状況 6団体 30万円×6団体=180万円

(4) 審査結果 5団体 30万円×5団体=150万円 ※表3のとおり

申請団体6団体の内、5団体が基準点(72点)を上回りました。

### 4 平成27年度第1回横浜市市民協働推進委員会市民活動運営支援事業部会

(1) 開催日時 平成27年8月24日(月) 10時00分～15時30分

(2) 市民活動運営支援事業部会名簿(部会長を除き五十音順)

	氏名	所属等
部会長	名和田 是彦	法政大学 法学部 教授
専門委員	清水 靖枝	長屋門公園歴史体験ゾーン 事務局長
専門委員	堤 剛史	横浜信用金庫 融資部 企業経営支援チーム
推進委員	時任 和子	特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワーク 理事長

## 1 平成27年度第2回よこはま夢ファンド登録団体申請

	団体名	主な分野	結果
1	アレルギーを考える母の会	保健・福祉・子ども	登録
2	NPOチーム白幡	保健・福祉・子ども	登録
3	FOSH	まちづくり・環境 経済・観光振興	登録
4	日本ぬいぐるみ協会	保健・福祉・子ども 文化・スポーツ 経済・観光振興	登録

## 2 平成27年度第2回よこはま夢ファンド登録団体助成金申請

	団体名	団体概要等	事業名・事業内容等	申請金額	団体あて希望寄附金額 (平成27年8月24日現在)	交付金額
1	チャージングライフサポート協会	広く一般県民に対して、ピアカウンセラーの育成をはじめとする高齢者向けの社会教育とそれを享受する高齢者・障害者に対し、チャージングな生活ができるように支援することを主な事業とし、もって「すべての人がしあわせである社会づくり」に寄与することを目的としている団体です。	<p>【「歌って回想」健康法指導者養成講座】</p> <p>「歌って回想」という団体オリジナルの健康法について、指導者養成講座を行う。これまで過去6回実施し、170名の健康法指導者を養成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年10月～12月 計10日間実施</li> <li>・【講義】回想法、呼吸療法、音楽療法について</li> <li>・【演習】コミュニケーション演習、回想法演習、呼吸療法演習、音楽療法演習等</li> <li>・【実技】規定曲ムーブメント研修、自由選択曲創作ムーブメント研修</li> </ul>	550,000円	500,000円	550,000円
2	La vie saine 協会	地域に住む全ての人々に対して、終生にわたり「明るく・楽しく・健やか」に自立的生活を営むことができるように支援するとともに、健康体操等を通じて向老期を迎える人々にコミュニケーションの輪を広げ、ボランティア活動に参加できるよう支援し、お互いが助け合うことのできるコミュニティ(地域社会)を創出し、活性化させる事業を行い、「すべての人がしあわせである地域社会づくり」に寄与することを目的としている団体です。	<p>【高齢者の地域活動及び健康指導を行う人材育成に関する啓発事業(「のびのびシニアストレッチ」啓発事業)】</p> <p>団体が実施している「のびのびシニアストレッチ」は、50歳代後半から90歳代前半まで幅広い層に支持をされているが、人材不足のため、多様なニーズに応えきれない現状がある。そこで、「のびのびシニアストレッチ」の講師を育成する事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年9月～平成28年3月 計16回実施</li> </ul> <p>※初回申請</p>	170,000円	100,000円	170,000円
3	ウィニージーパンとつか	地域における環境保全の推進を図るとともに、アジア各地域の人々の生活向上と自立に寄与すること及び地域住民の環境・人権・平和・協力等に関する国際的な意識の自覚を図ることを目的としている団体です。	<p>【広報事業】</p> <p>団体の趣旨や目的について、より見やすく、目につきやすくするため、カラー印刷の団体リーフレットを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷部数:3,000部予定</li> </ul> <p>※初回申請</p>	70,000円	0円	70,000円
4	四季の森里山研究会	主に神奈川県民に対して、里山、森林保全と自然環境保護に関する事業を行い、広く環境保全に寄与することを目的としている団体です。	<p>【森林環境保全活動のために、作業用ヘルメットを更新】</p> <p>森林環境保全活動を安全に実施するために、作業用ヘルメット25個を更新する。</p>	70,000円	70,000円	70,000円
5	WE21ジャパン・旭	地域における環境保全の推進を図るとともに、アジア各地域の人々の生活向上と自立に寄与すること及び地域住民の環境・人権・平和・協力等に関する国際的な意識の自覚を図ることを目的としている団体です。	<p>【地域の市民の国際的な意識や理解を高めるための広報普及を図る事業】</p> <p>団体の活動をアピールし、活動に共感を得られるような三つ折りパンフレットを作成する。</p>	20,000円	20,000円	20,000円
6	ふらっとステーション・ドリーム	近隣住民に対して、必要とされる支えあい支援に関する事業を住民が主体となって行い、様々な関係者と共に、誰もが尊厳を持って生き生きと心豊かに暮らしていくことができる地域づくりを図り、もって公共の福祉に寄与することを目的としている団体です。	<p>【「ふらっとステーション カルチャースクール 水彩画教室」】</p> <p>これまでカルチャースクールで実施していた、英会話とオカリナに加え、水彩画教室を開設し、生涯学習に関心を持つ地域住民のさらなる参加を募る。また、高齢化が進む地域の介護予防の一助とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年9月～平成28年3月 毎月1回実施</li> </ul>	50,000円	100,000円	50,000円

	団体名	団体概要等	事業名・事業内容等	申請金額	団体あて希望寄附金額 (平成27年8月24日現在)	交付金額
7	SUNファミリー	主に横浜市に在住の市民に対して、体育遊びを中心に様々な運動を通じたサークル活動や青少年の健全な育成に関する事業を行い、地域住民の運動に対する自発的な意欲を推進するとともに、心身の健康増進に寄与することを目的としている団体です。	【体育遊びを中心とした様々な運動を通して健康増進に関する事業】  身体を動かす楽しさを体験し、調整力・基本的な運動能力を身に付け、けがをしない身体作りを目的として、緑区・都筑区にて、体育遊び・サッカー等のサークル活動を行う。 ・各会場・サークル 月2回 計70回実施	360,000円	360,000円	360,000円
8	地域コミュニティネットワーク・ヨコハマ	地域における人的ネットワークの絆を生かして、主として不特定多数の市民を対象に、地域福祉や街おこし等に関する事業を行い、新しい地域コミュニティの創造と地域交流を通して、公益の増進に寄与することを目的としている団体です。	【周年記念シンポジウム開催事業】  NPO法人設立8周年を記念してフォーラムを地域住民を対象に開催する。 ・日程：平成28年1月23日 ・会場：横浜市閩内の馬車道十番館ホール ・フォーラム構成：基調講演及びパネラー4名によるディスカッション、会場参加者との質疑	70,000円	50,000円	50,000円
9	横浜シュタイナーこどもの園を育てる会	国際シュタイナー幼稚園連盟と連携し、ルドルフ・シュタイナーの理念に基づいて、本法人に属する横浜シュタイナーこどもの園の運営を行い維持発展に努めると共に、シュタイナー教育の実践及び普及活動を通して、こどもの健全育成及び社会教育の推進に寄与することを目的としている団体です。	【子育て支援事業(クラス開催、交流会開催、冊子発行)】  ・交流会・・・ドイツ伝統のおもちゃ作りのノウハウを、一般参加の希望者に一部公開・制作する交流会を毎月開催。 ・冊子発行・・・専門家、教師による教育にまつわるエッセイなどを掲載。12月、3月に発行。 ・親子クラス・・・0～2歳の子どもと保護者のためのクラス。整えられた環境の中で子ども達がふれあい、親は思いを分かち合う。週1回実施。 ・2歳児クラス・・・2歳児のための子どもだけのクラス。週3回実施。	700,000円	876,468円	700,000円
10	神奈川県防犯セキュリティ協会	神奈川県民に対して、県行政の推進する「安全・安心まちづくり」に関わる分野において、自治体や関連団体と連携し、地域の安全・安心に関する事業や健全な住環境づくりに貢献することを目的としている団体です。	【協会設立10周年記念誌の刊行事業】  10周年記念誌の発行を通じて、「安全安心まちづくり」の活動事例を広く県民に広報する。 ・発行部数：700部予定	112,000円	300,000円	112,000円
11	ルンビニー・わらべ園	幼児の教育を通してシュタイナー理念を実践することにより、子どもの健全育成及び社会教育の推進を図り、あわせて地域福祉の増進を図ることを目的としている団体です。	【保育環境整備事業】  認可外保育事業所「ルンビニー・わらべ園」の施設を安全に利用するために必要な定期的保守管理、老朽化した箇所の修繕を実施する。また、園舎・園庭の定期的な清掃・保守作業、保育室での保育における必要な備品・消耗品の整備・補充、及び菜園、花壇など園庭の整備作業も行う。さらに、園児の遊具作りなども並行して実施し、シュタイナー幼児教育実践のための環境作りを進める。事業実施に際しては、会員や地域の方々の参加の下で行い、相互の交流を進め、シュタイナー理念の普及に努める。	70,000円	220,000円	70,000円
12			【講演会・勉強会運営事業】  ルドルフ・シュタイナーの理念に基づいた講演会・勉強会を実施する。 ・幼児オイリュトミークラス：毎週水曜日 ・シュタイナー幼児教育に関する講演会、オイリュトミー講演、勉強会など： 平成27年11月・平成28年2月の週末を利用して実施予定 ・上記イベントの告知・宣伝：随時実施	150,000円		150,000円
13	沙羅の会カウンセリングハウス	精神衛生(メンタルヘルス)の問題をかかえた方を始め、一般市民、学校及び事業者に対して、精神衛生(メンタルヘルス)に関する事業等を行い、保健、医療又は福祉の増進に寄与することを目的としている団体です。	【カウンセリング事業】  メンタルヘルスの問題を抱える方に対し、臨床心理士がカウンセリングを行う。2014年は176名に対し、延べ1,462回のカウンセリングを実施。 ※初回申請	450,000円	380,000円	450,000円

	団体名	団体概要等	事業名・事業内容等	申請金額	団体あて希望寄附金額 (平成27年8月24日現在)	交付金額
14	楠の木学園	「学習障害」(LD)及びその周辺の子どもたちや小・中学校で不登校だった子、引きこもりで学習や社会参加の機会をえられなかった若者たち、高校と養護学校の狭間で行き場を失っている子どもや若者、高校中退の若者などのために居場所、学習の場、将来社会に出ていくための力量を育成する場を提供し、健全な発達を促すことを目的としている団体です。	【第22回 楠の木学園発表会】  発達障害など様々な個性をもって当学園に通う若者たちが、広く学習の成果を発表する機会とする。 ①横浜フボールでの発表会・・・音楽・大道芸・和太鼓・演劇などの舞台発表。美術・手芸・写真作品などの展示。平成28年2月20日開催予定。 ②発表会に向けての事前練習、事後のふりかえり活動。	600,000円	3,060,189円	600,000円
15			【'15年度 教室整備事業計画 照明器具取り替え II】  楠の木学園は木造築22年の建物であり、修繕の必要な箇所が多くみられる。今回は2階の照明の一部と、1階の不具合の出ている照明をLED照明に取り替える。	400,000円		400,000円
16	こころの電話 金沢	金沢区内で精神的助けや励ましを求めている人々に対して、電話という手段で心の思いや悩みをじっくり聴く電話相談と安否確認のための電話訪問、並びに対面相談による居宅訪問等を行うことにより、誰でもが、安心して暮らせるよう、地域福祉の増進を図り、広く公益に貢献することを目的としている団体です。	【普及啓発事業(リーフレット作成)】  団体の活動について広く各分野(福祉・医療・保健・ケアプラザ・一般)の方に理解、活用してもらうために、活動内容などを知ってもらうことを目的とし、新しいリーフレットを作成する。	50,000円	50,000円	50,000円
17	インフォメーションギャップバスター	情報化社会において障がい、病気、高齢などの理由により、情報を十分に得る事ができず、不利益を被っている情報弱者に対し、情報リテラシー(情報を活用する能力)を身につける事を支援する事業等を行い、情報化社会の発展、情報弱者の雇用機会の拡充などに寄与することを目的としている団体です。	【Web(ブログ等)による情報格差問題の啓発事業】  現在、Webサイトに記載されている情報格差問題について、分かりやすく書きかえると共に、イラストや漫画を作成し、周知を図っていく。 ※初回申請	70,000円	0円	70,000円
18	スマイルオブキッズ	闘病中の子どもたちの基本的人権が尊重され、最善の医療を受け日々の生活の質を向上させることができるよう、本人および家族に精神的、物質的支援をする事業並びに小児医療に関わる法人、団体への支援事業を行うとともに闘病中の子どもたちの現状を広く社会に伝え、志のあるボランティアを育成することによって、広く社会全体の子育て環境の改善に寄与することを目的としている団体です。	【宿泊滞在施設運営事業】  いつでも安心して宿泊利用できる場所を提供することにより、利用者である患者家族の闘病生活に対する経済的・精神的負担を軽減すると共に、こども医療センターの職員と連携して、病気に立ち向かう環境と機会を一人でも多くの方々に提供する。 施設には、24時間ボランティアが交代で、宿泊者と建物の管理を行っている。 また、ホールを活用し、医療センターの外来を受診する患児のきょうだいの保育を週5日行っている。	2,000,000円	2,945,490円	2,000,000円
19	横浜カーフリーデー実行委員会	横浜市及び横浜市民に対して、カーフリーデー&モビリティウィークに関する事業等を行い、都市の環境保全、都市交通の利便性向上、福祉のまちづくりに寄与することを目的としている団体です。	【横浜カーフリーデー&モビリティウィークの開催事業】  「カーフリーデー」とは、毎年9月22日に実施される、地球環境問題、都市交通問題等の改善のためマイカーを使わない日を設け、公共交通機関・徒歩・自転車などを利用し、都市環境の変化を体験することによって、経済や文化活動にどのような影響があるか、「持続可能な都市交通とは何かを一緒に考える社会的なイベント」。 ・チラシ作成:4万枚	100,000円	103,000円	100,000円
				6,062,000円	9,135,147円	6,042,000円

## 3 平成27年度よこはま夢ファンド組織基盤強化助成金申請

	団体名	団体概要等	取組名・取組内容等	審査の際のコメント	点数 (基準点: 72)	申請金額	交付金額
1	沙羅の会カウンセリングハウス	精神衛生(メンタルヘルス)の問題をかかえた方を始め、一般市民、学校及び事業者に対して、精神衛生(メンタルヘルス)に関する事業等を行い、保健、医療又は福祉の増進に寄与することを目的としている団体です。	【継続的に活動できる組織を目指して～広報活動・人材育成などにおける取組～】 組織運営に必要な業務の知識やスキルなども乏しく、経営面は会費収入が少なく、寄附は理事によるものしかない状況で、昨年度赤字が発生した。今回の申請にあたって、ファンドレイジングのスキルの習得や、広報などに重点を置き、より多くの方へ活動を理解してもらうこと、寄附などを募り継続的に活動を維持できる組織作りを目指す。	・申請内容は組織基盤強化のための取組として順当な内容だと思う。 ・知能検査用具の買い替えは、組織基盤強化を行うために事業を発展させていくための、初期投資として考えることができる。	103	300,000円	300,000円
2	フェアスタートサポート	児童養護施設や自立援助ホーム及びシェルター等の施設に入所し、社会的養護の下で生活している児童等へ、将来の自立へ向けた支援を行い、全ての子ども達が就業、学業に関して平等で公平な機会を与えられる社会の創出に寄与すること、また、就業を果たした若者へ相談窓口や交流会等のアフターフォローを提供する事で、彼らの早期離職や社会的な孤立を防ぎ、安定した社会人生活を継続していく手助けを行うことを目的としている団体です。	【新規職員育成研修】 平成27年7月より、これまでの支援対象であった、児童養護施設や里親家庭の若者だけでなく、定時制通信制高校に通う若者も就労支援事業の対象に含めることとした。しかし、現在、職員2名で全ての活動を担っているため、新規の業務に力を注げる余裕がない。そこで、平成28年4月から正規職員となる採用内定者に対して、現時点から集中研修を行い、団体の管理事務を担えるような人材に育てることで、他の職員が新規の業務に力を注げる体制作りを目指す。	・予算の大半をアルバイト料が占めているが、単なるアルバイトではなく、平成28年4月から正規職員となる採用内定者に対する人件費ということなので、組織基盤強化につながる取組だと思う。 ・申請団体の取組の先進性を高く評価し、また、この半年の間に急速に組織基盤を固める努力に期待して、部会としては助成を適当と考える。	107	300,000円	300,000円
3	いこいの家 夢みん	住民が自由に集い、憩い、生きがいを生み出す場としてのサロンを運営することを通じて、地域の人々が住み慣れた街で、安心して、心豊かに暮らし続けていくために、お互いに助けあい、支えあうことのできるまちづくりの推進に寄与することを目的としている団体です。	【地域の高齢化に対応し、福祉団体の組織統合を検討する取り組み】 活動地域において、急速に高齢化が進み、高齢一人暮らし、高齢夫婦世帯が中心の地域となってきた。そこで、地域の他の福祉団体2団体と共に、団体や地域の課題、将来ビジョン、6月実施の住民アンケートにより得られた地域ニーズへの対応、住民の地域での役割や居場所作りについて話し合い・ワークを重ねて、今後の方向性を探る。なお、ワークの際にはアドバイザーを依頼する。 また、今後の方向性を探った結果、3団体で組織統合の合意が取れた時点で統合実現に向けた計画作りを行う。	・地域内の活動団体の合併というのは一見ユニークであるが、高齢化が進む環境の中では、自然な発想の取組だと思う。今後、全国的に色々な団体がこの団体と同じような課題を抱えていくと思う。 ・地域内で活動する、複数の団体が今後に関して話し合う、という申請内容は非常に面白いと思う。 ・現在、3つの団体が行っている活動を1つの団体に集約するというは大変だが、高齢化が進む現状において、大切なことだと思う。	104	300,000円	300,000円

	団体名	団体概要等	取組名・取組内容等	審査の際のコメント	点数 (基準点: 72)	申請金額	交付金額
4	多言語社会リソースかながわ	主に神奈川県内の日本語を母語としない住民の暮らしに関わる問題、とりわけ医療通訳の養成、医療関係機関への医療通訳派遣に関する事業及び主に外国籍住民の公的医療制度の適用の推進に向けての啓発事業等を行い、人権擁護の促進・地域の福祉と健康の増進に寄与することを目的としている団体です。	<p>【MICかながわ組織基盤強化プロジェクト】</p> <p>医療機関への医療通訳派遣件数が年々増加しているが、それに係る必要経費の捻出のため、団体の財政状況がひっ迫している。 この状況を改善するため、広報を強化し、活動の支援者を増やすことにより、団体の組織基盤強化につなげる。 また、会員や登録ボランティア情報をデータベース化し、組織の財産である情報を適正に管理し、効果的に活用する環境を整える。</p>	<p>・団体は、広報強化以外の課題も抱えているのではないかと。助成金を交付する際は、ファシリテーターが派遣される自己評価の際に「広報強化だけでなく、通訳ボランティアの育成等の課題についても考えること」ということを付帯条件としたい。</p>	102	300,000円	300,000円
5	ヴィエムシイ	高齢化社会を迎える中で「働楽(働き、そして楽しむ)」をキーワードに、シニアの生きがいや社会参加並びにシニアの知恵や経験を活用した起業支援を行い、生きがいのある、活力あふれるまちづくりに寄与することを目的としている団体です。	<p>【収入源の再構築】</p> <p>中小企業支援を主事業として活動しているが、最近、国・地方自治体も中小企業支援対策を講じているため、団体の担務分野が少なくなり、収入源の再構築を図る必要が出てきた。 そこでハーバークラブミニゴルフ同好会の結成等、新規事業を加えた現事業の拡充を図り、会員の増員を目指す。 また、団体が運営を行っている「横浜産業新聞」や団体HPの改修等を行い、広告収入の確保や、広報の充実を図る。</p>	<p>・申請内容が組織基盤の強化に資する計画となっていない。 ・企業支援を主事業として経済分野で活動してきた団体が、突然、福祉系の事業に活動範囲を広げているように見える。そのようなやり方で活動が上手くいくのか確信が持てない。</p>	55	300,000円	不交付
6	夢・コミュニティネットワーク	夢をかなえて地域でイキイキと暮らしたいと願う人々に対して、学びあいとまちづくりに関する事業を行い、新しい地域コミュニティと仲間づくりを通して社会全体の利益の増進に寄与することを目的としている団体です。	<p>【組織基盤強化のための自主事業の質向上】</p> <p>近年、団体の財政面において、補助金・助成金収入に頼る状況となっている。そこで今回、発達障がい地域理解啓発事業を見直し、より質を高め、持続的な資金調達のための仕組みを作ること、団体の自主財源の確保と自立した団体運営を目指す。</p>	<p>・事業の質を向上させることで、組織の基盤を強化することは大事なことだと思う。 ・団体を運営する際に大事なポイントである、事業の質向上・広報発信・資金調達等を網羅的に見直していこうという取組だと思われる。 ・組織基盤強化の取組として典型的な申請内容であると思う。</p>	107	300,000円	300,000円
						1,800,000円	1,500,000円



# 平成26年度 よこはま夢ファンド報告書

「よこはま夢ファンド」はふるさと納税制度を活用した、市民活動をみんなで支える基金です。

平成26年度は、個人 160件、企業 12件、団体・その他 5件で合計 177件 総額 23,568,189 円のご寄附をいただきました。

よこはま夢ファンドは平成17年度の創設以来、たくさんの方からご支援をいただき、創設から平成27年3月までに、合計 1,079件 総額 166,775,852円のご寄附をいただいております。

これからも皆さまのお気持ちを無駄にすることなく、地域や社会に欠かせない市民活動を支援してまいります。今後ともよろしくお願ひします。

**皆さまからのご寄附をもとに  
平成26年度は、27の事業に助成しました！**

## ✿ 平成26年度第1回横浜市市民活動推進ファンド登録団体助成金 ✿

	団体名	事業名	交付金額
1	日本ヘルスプロモーション協会	ピアカウンセラー養成研修事業	180,000円
2	ミニシティ・プラス	こどもが創るこどものまち「ミニヨコハマシティ」	740,000円
3		特命子ども地域アクタープロジェクト	410,000円
4	横浜移動サービス協議会	チャレンジドサロン運営事業	1,111,600円
5	こんにちは・国際交流会	国際交流事業～「バス研修旅行」～	200,000円
6	WE21ジャパン・旭	地域の市民の国際的な意識や理解を高めるための広報普及を図る事業	20,000円
7	横浜こどものひろば	想像力を育む舞台体験事業	450,000円
8	横浜シュタイナーこどもの園を育てる会	子育てに関わるすべての人（教育者、保護者など）に対する公開イベント事業	105,000円



✿平成26年度第2回横浜市市民活動推進ファンド登録団体助成金✿

	団体名	事業名	交付金額
1	チャーミングライフサポート協会	「歌って回想」健康法指導者養成事業	300,000円
2	スローレーベル	ヨコハマ・パトリエンナーレでの福祉活動PR事業	3,200,000円
3	横浜シュタイナーこどもの園を育てる会	子育て支援事業（交流会、冊子発行、クラス開催など）	398,532円
4	アース・エコ	親子工作教室で地球温暖化防止	70,000円
5	ルンビニー・わらべ園	保育環境整備事業	70,000円
6	楠の木学園	楠の木学園を快適な空間とするための照明器具リニューアル（取り替え）事業	350,000円
7		第21回 楠の木学園発表会	700,000円
8	草の根援助運動	ニュースレター「ぴいぷる2」発行事業	100,000円

✿平成26年度第3回横浜市市民活動推進ファンド登録団体助成金✿

	団体名	事業名	交付金額
1	神奈川県環境学習リーダー会	第21回市民環境活動報告会	70,000円
2	ハマトラ・横浜フットボールネットワーク	サッカー文化推進出版事業	70,000円
3	横浜こどものひろば	人間に出会う舞台芸術体験事業	450,000円
4	ルンビニー・わらべ園	講演会・勉強会運営事業	130,000円
5	スマイルオブキッズ	滞在事業施設運営	2,000,000円
6	あっちこっち	子どものためのアート・音楽・ダンスをいっぺんに楽しむわくわくワークショップ	70,000円
7	SUNファミリー	親子たいそう事業	70,000円
8	ミニシティ・プラス	こどもが創るまち「ミニヨコハマシティ」開催のためのこどもまちづくり会議	328,000円
9	かながわスポーツボランティアバンク	外で遊ぼう・作ろう・・・からだを動かす・ブンブンゴマ作りに挑戦	35,000円
10	横浜移動サービス協議会	チャレンジ・ド・コンサート	505,000円
11	横浜シュタイナー学園	横浜シュタイナー学園運営事業	10,500,000円



## 平成26年度の主な助成金事業を紹介します！

### NPO法人 あっちこっち

「子どものためのアート・音楽・ダンスをいっぺんに楽しむわくわくワークショップ」  
助成金額 70,000円

あっちこっちは、芸術を通じて社会を活性化することを目的として活動している団体です。

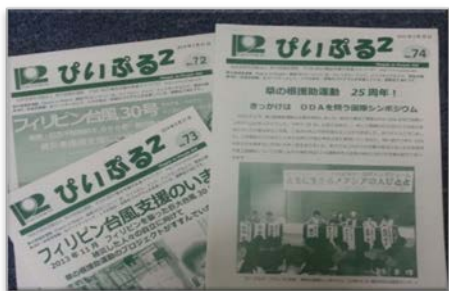
平成26年12月に、音楽・美術・ダンスを一度に体験する、子どものためのワークショップを行いました。100名の子どもと100名の保護者が、100年前の作曲家の作品に親しみ、クリスマス・ツリーのオーナメント作りや、歌、ダンスのレッスンを受けました。クラシック音楽にふれながら、若手アーティスト、地域の子ども、ボランティアが一つになり、舞台作りを楽しみながら体験しました。最後のステージ発表や、プロの先生によるパフォーマンスは大変盛り上がりしました。



ワークショップ終了後に実施したアンケートでは、「芸術的なものにふれる機会が今まで少なかったので、今日はとても良い日だった」、「今後もぜひ参加したい」といった感想がありました。

芸術分野で地域、社会に貢献する活動、また人材育成を、今後も継続していく予定です。

### 特定非営利活動法人 草の根援助運動 「ニュースレター「ぴいぷる2」発行事業」 助成金額 100,000円



草の根援助運動は、主に途上国の人々に対して、自立自助の活動の支援事業等を行い、共存・共生社会の創成に寄与することを目的としている団体です。

海外での地域開発プロジェクトや現地の実情、国内での政策提言・フェアトレード・開発教育などの活動、世界の現状や国際協力をとりまく状況などについて、支援者・関係機関・一般市民に報告するため、ニュースレター「ぴいぷる2」を1年に2回発行しています。

平成26年9月に発行した「ぴいぷる2 No.73」では、平成25年11月にフィリピン中部を襲った台風30号の被災地支援プロジェクトの報告、高校の国際理解授業や学習会といった開発教育についての報告を行いました。

また、平成27年3月に発行した「ぴいぷる2 No.74」では、フィリピンの台風被災から立ち上がるリーダーの姿の報告を行うとともに、草の根援助運動25周年に伴い、団体設立のきっかけなどを紹介しました。「ぴいぷる2」の発行により、開発や貧困、人権、環境といった諸問題に関心を深めてもらうことができました。



**特定非営利活動法人 スローレーベル**  
**『ヨコハマ・パラトリエンナーレでの福祉活動PR事業』**  
**助成金 3,200,000円**



photo:427FOTO

スローレーベルは、アーティストと障がい者を含めた市民との協働により、ものづくりやことづくりに取り組み、市民の生きがいづくりに寄与することを目的としている団体です。

ヨコハマトリエンナーレ2014の関連イベントとして、平成26年度に初めて実施した「ヨコハマ・パラトリエンナーレ」において、ものづくりやパフォーマンスのプログラムを展開し、障がいがある人とな

ない人が実際に交流する場をつかったほか、「ヨコハマ・パラトリエンナーレ」の取組をまとめた記録集を作成しました。障がいのある人となない人が出会い、協働する機会を創出し、その経験から相互補完力を養うことで、誰もが居場所と役割を実感できる地域社会の実現を目指しました。

一般的な障がい者の作品展示ではなく、「プロフェッショナルと協働する」という新しい取組に挑戦し、障がい福祉関係者にとっては新たな出会いや視点をもつきっかけとなり、障がい福祉と接する機会のない人にとっても、改めて障がいを考える機会となり理解が深まりました。



photo:Kyosuke Asano

**平成26年度にご寄附いただいた方々**

**お名前公表をご了解いただいた寄附者の皆様**

秋元 秀俊 様  
 安食 和博 様  
 池部 克彦 様  
 藤英 高 様  
 太田 弘 様  
 岡崎 直也 様  
 岡崎 直裕 様  
 岡本 輝行 様  
 加島 隼人 様  
 亀山 隆司 様  
 河辺 美華 様  
 木野 寿一 様  
 黒坂 豊清 様  
 桑原 俊一 様  
 小島 浩一 様  
 小林 俊介 様  
 小山 哲哉 様  
 小藤 由加 理 様  
 佐藤 雅史 様  
 澤村 和典 様  
 清水 慎吾 様  
 清水 和子 様  
 清水 大樹 様

鈴木 直亮 様  
 須田 美代子 様  
 砂田 武志 様  
 陽田 みどり 様  
 仙石 誠 様  
 高城 あゆみ 様  
 高田 信利 様  
 高野 啓二 様  
 高野 智弘 様  
 高野 慈子 様  
 高橋 鉄雄 様  
 滝沢 史宜 様  
 滝波 力 様  
 檀原 照和 様  
 千原 遠見 彦 様  
 出口 武志 様  
 所沢 新一 郎 様  
 豊田 茂芳 様  
 長井 麻美 様  
 中川 義広 様  
 中島 晃紀 様  
 中島 憲次 様  
 長瀬 洋 様  
 永田 セリー ン 様

成田 智也 様  
 西尾 早知子 様  
 西澤 史瑞子 様  
 西嶋 良造 様  
 濱西 康浩 様  
 廣瀬 朱美 様  
 福元 晃 様  
 藤岡 義史 様  
 藤岡 恵美 様  
 眞実 井 俊亮 様  
 水野 明德 様  
 森田 修 様  
 森本 正信 様  
 柳下 敦子 様  
 柳本 英樹 様  
 山岡 美香 様  
 山口 剛史 様  
 山野 上 啓子 様

はなまる鍼灸接骨院  
 代表 飯島 将太郎 様  
 株式会社 F R E E i n g  
 代表取締役 長谷川 巧 様

お名前とご寄附金額の公表をご了解いただいた寄附者の皆様

荒川 昭憲 様	5,000円	林 信裕 様	50,000円
井坂 誠司 様	150,000円	福地 耕治 様	100,000円
泉 一弘 様	100,000円	前田 浩 様	40,000円
伊藤 拓哉 様	30,000円	松井 淨 様	10,000円
伊藤 文男 様	300,000円	水岡 成爾 様	10,000円
岩澤 直純 様	20,000円	三角 忠 様	50,000円
内山 勝文 様	50,000円	宮本 雄司 様	30,000円
内海 及 様	20,000円	森 一俊 様	30,000円
近江 幹子 様	20,000円	柳川 三郎 様	50,000円
大田 久子 様	10,000円	山口 徳行 様	100,000円
小澤 昌弘 様	30,000円	山本 浩正 様	50,000円
尾上 浩一 様	50,000円	依藤 正次 様	10,000円
折田 貴弘 様	100,000円	渡辺 健 様	160,000円
粕谷 文雅 様	200,000円	渡辺 則誠 様	170,000円
加納 健 様	250,000円		
川島 邦夫 様	30,000円	神奈川福祉事業協会	
河本 和子 様	10,604円	会長 伊坂 重憲 様	3,500,000円
神田 昌実 様	200,000円	医療法人社団 咲陽会 ふかわ矯正歯科	
木村 美奈子 様	3,000円	府川 俊彦 様	300,000円
小柳 勝彦 様	1,000円	東芝ビーエム株式会社	
斎藤 孝 様	1,000円	代表取締役 社長 吉田 一也 様	30,000円
白石 眞一 様	1,000円	村山建築設計事務所	
白鳥 聡 様	90,000円	村山 雄一 様	100,000円
高尾 照代 様	10,064円	Rockin' YOKOHAMA155実行委員会	100,000円
高木 邦彦 様	50,000円	一般財団法人 よこしんふれあい財団	
高田 邦久 様	50,000円	理事長 斎藤 寿匡 様	1,000,000円
田口 繁雄 様	10,000円	YOKOHAMA MUSIC EXPO 事務局 様	100,000円
竹村 洋一 様	80,000円		
田中 麻子 様	100,000円		
田中 康英 様	50,000円		
寺井 由紀子 様	1,000円		
中村 尚志 様	350,000円		
難波 孝徳 様	50,000円		
野垣 博文 様	1,000円		



## 登録団体への助成以外にも、税務、労務に関する専門家の派遣や講座を実施し、市民活動団体の運営を支援しています！

### 専門アドバイザー派遣



- ・会計処理の仕方を見直したい、工夫したい
- ・行っている事業に関わる税金の種類や金額を確かめたい
- ・雇用関係の規定が十分な内容になっているか確かめたい

など、団体が個別に抱える会計税務や労務に関する課題について、市民活動団体の運営に詳しい専門家（税理士や社会保険労務士）が、団体の事務所に直接伺い、アドバイスを行います。  
※夢ファンドでは、専門アドバイザー派遣を受ける際に必要な費用の一部を助成しています。

#### 【平成26年度の実績】

助成金額： 計 148,000円

派遣回数： 税理士 5件 社会保険労務士 5件 計 10件

#### 【派遣を受けた団体の声】

- ・経理面だけでなく、法人の今後の運営についても新たに考える機会になりました。
- ・短い時間でしたが労務に関しての助言・指導内容が理解しやすく、とても勉強になりました。講習会等、積極的に参加し、自身でも知識を深めていけたらと考えます。

### よこはまNPO会計塾 よこはまNPO労務塾 プロのNPOをつくるための7の講義

- ・1年間の会計処理の流れやNPO法人の会計基準、税金について
- ・労務に関する規程や保険、雇用に関して必要な手続きについて
- ・事業計画やPR、リーダーシップ等、組織の運営に必要な考え方やスキルについて

など、団体の会計、税務、労務、組織運営に関する講座を、市民活動団体の運営に詳しい講師を招いて、実施しています。



#### 【平成26年度の実績】

実施金額： 739,309円

講座開催数、参加者数：

- |                    |      |       |      |
|--------------------|------|-------|------|
| ・よこはまNPO会計塾        | 7回開催 | 参加者延べ | 201名 |
| ・よこはまNPO労務塾        | 2回開催 | 参加者延べ | 34名  |
| ・プロのNPOをつくるための7の講義 | 7回開催 | 参加者延べ | 39名  |

#### 【講座受講者の声】

- ・今年初めて活動計算書を作成してみ、それがあっているか否か不安でしたが、確認ができ安心することができました。（会計塾）
- ・今まで勉強不足だったこともあり、とても分かりやすく理解も深まりました。（労務塾）
- ・これからのことを計画しようとするとき、未来のことばかりに気を取られがちですが、過去の自分に答えがあるのだと学びました。（プロのNPOをつくるための7の講義）